

沖縄返還49年、次世代の想い

無視される県民投票

なんで、このような世の中に

来年、沖縄は返還50年を迎えます。大きな節目を前にした沖縄の今と将来の課題について、宜野湾市出身の20代、元山仁士郎さんに聞きました。

遺骨土砂問題をはじめ沖縄基地問題を中心に、精力的に活動し、発信をされています。それら活動の原点、原動力についてお聞かせください。

大学進学のために東京に来て、東京と自分が育った宜野湾市が違うんだと思つたことが原点です。沖縄では戦闘機の音で授業が中断したりしましたが、東京では静かだとか、基地のフェンスがないとか。自分の日常が異常だったという事に気づかされました。ちょうどそのころ3・11の東日本大震災があつて。テレビで原発が爆発するのを見て怖いと思ひました。それ

まで日本に何か問題があると思つていなかったのですが、54基も原発があるんだと。また、浪人時代に通つた東京の塾が変わつていて、沖縄を取り上げた授業などをやってくれたり、大田昌秀さんの『醜い日本人』などを読んだりと。そこがきっかけで自分のルーツや基地問題などに目が向くようになりまし



普天間基地、たくさんのオスプレイが見える

た。東京での暮らし、3・11、そして塾が原点かなと思ひます。歯に衣着せぬ言い方をすれば、なぜこのような世の中にしてしまったのかという上の世代に対する怒りがありま

す。環境問題でグレタさんも同じようなことを言っています。同様の感覚をもって



「辺野古」県民投票の会元代表/大学院生

もとやま じんしろう 元山 仁士郎 さん

プロフィール/沖縄県宜野湾市出身、現在、一橋大学大学院法学研究科の博士課程で学ぶ29歳。安保法制の時にはSEALDsの活動や「辺野古」県民投票の会代表として2019年沖縄県民投票のための条例制定を求める活動を行なった。その後、その投票結果の尊重を求める陳情活動、全国を回つての講演活動、遺骨土砂問題の取組み、2・24音楽祭などを主催している。

歴史は複雑 やれることある

一世代、もしくはもっと若い世代の政治意識について、どう感じていますか。無関心というわけじゃない

覚なのかなと思ひます。沖縄の問題に対する県外との温度差など、一般的に共感が広がりにくい社会になっているように思ひます。

そう思ひますね。がっかりしている面はありますが、かといつてまだまだやれることがあると思ひたいというか。

私は歴史学を専攻して、日米の外交文書などを読んでいますが、歴史は単純でなく、色んな人達の思惑が絡み合つて進んできたんだなというのがだんだんわかつてきたので、基地問題についても一筋縄ではいかないと思ひようになりまし

た。沖縄の場合は海を隔てた距離が、共感しにくい要素かなと思ひます。ネットの情報の真偽がわかりにくいというのもありまし

反対派は日當も

基地の存在変化なし 私達は本当に日本人なのか

私達は本当に日本人なのか

一昨年、沖縄返還50年となりますが、50年ですごく変わつたことはあります。昔は本土での沖縄出身者に対する差別感があつたとも聞きます。

私達は本当に日本人なのかという思ひは上の世代に比べても強くなつてきていると思ひますね。「琉球独立論」みたいなものは政治的には支持されていません。日本政府の不当な扱いに対しては、保守であっても良しとせず、その象徴である翁長雄志さんのように、やっぱり良心的な保守の方がいると思ひます。

辺野古新基地建設に沖縄戦戦没者の遺骨が混じつた土砂が使われる恐れがある問題。「魂魄(こんぱく)の塔」と

遺骨土砂問題とは

どこまで沖縄を冒瀆するのか

遺骨収集して慰霊碑を建てるところから1キロ以内の土砂(石灰岩)は見分けてつかない。小指や膝の関節の骨など小さいものもある。そういつのうちに確かにかんがえを阻害しますね。フェイクニュースを流すのは一般人だけじゃなく作家の百田尚樹さんや出版社もそういう本を出してたりします。かなりやっかいですね。

ので実施される可能性は非常に高いと思はれる。遺骨と土砂(石灰岩)は見分けがつかない。小指や膝の関節の骨など小さいものもある。そういつのうちに確かにかんがえを阻害しますね。フェイクニュースを流すのは一般人だけじゃなく作家の百田尚樹さんや出版社もそういう本を出してたりします。かなりやっかいですね。

業者側は調査して取り除くといつているが、丁寧に細かく見ていかなければならず、取り除くことはほぼ不可能と思はれる。日本政府はどこまで戦没者、沖縄を冒瀆する気なのだろうか。



辺野古の海 (撮影: 普久原朝日)

残つているというのは事実としてあるということです。沖縄としてはまだ差別されているのではないかと感じざるを得ない状況がありますね。

ぜひ辺野古を見て考えて

物質的には豊かになつたと思ひます。道路とか、食べ物とか、停電、断水もほほくそになりました。ただ、米軍基地はほとんど変わつていません。米軍がジャングルトレーニングを行なう北部訓練場が半分返還されましたが、返すといつてもそこにあつたヘリコプターの着陸帯を移すといつて高江ヘリパットの建設問題があつた訳なので。借

2・24音楽祭

元山さんが実行委員長となつて開催する音楽&トークイベント。

出演: 玉城アニー知事、七尾旅人(ミュージシャン)、元山仁士郎、他



youtubeで視聴できます



グラスボートから見えるサンゴ礁 (撮影: 普久原朝日)